

申第8号「秋のダイヤ改正・緊急申入れ」専門協を開催!

本部は、11月9日申第8号「秋のダイヤ改正に対する緊急申入れについて」専門協を開催した。

一 申第8号内容について 一

1、日豊本線において連日乗客の積み残しが発生している。両数増結ならびに車掌の乗務指定をされたい。

会社)現行どおりとしたい。

- ・ダイヤ改正直後は積み残しも多く あったが、現在は落ち着いてきている。
- ・両数増結するには車両が無い。
- ・利用者からの苦情は1000件以上。

組合)

- ・現在落ち着いて見えるのは、ご利用のお客さまが、他の交通機関や自家用車へ変わってきているのが現状で、収入の面も含め、交通機関としてしっかり役目を果たすべきだ。

2、ワンマン列車におけるモニター不具合について

会社)必要により車掌手配及び車両交換等を実施している。今後ともモニター故障時は異常時マニュアル等に基づき取り扱う。

- ・これまでモニター異常は100件以上、車掌手配や車両交換は10数件。
- ・車掌が手配出来ない箇所では、線路や駅形状の分かる係員を手配する。係員は安全確認を行う。

組合)

- ・100件以上の不具合で10数件の車掌手配や車両交換は少なすぎる。
- ・車掌手配や車両交換が出来ない場合に運転士による車掌スイッチでのドア開閉はホーム検知・両数検知の安全装置の意味が無く危険すぎる。

3、佐世保線における異常時等により、担当の南福岡運転区の明けが遅くなったり、お客さまへ多大なご迷惑をかけている。長崎総合乗務センターへEC乗務及び佐世保地区に乗務員基地の設置をされたい。

会社)現行どおりとしたい。

- ・長崎総合乗務センターがECを乗務する事になれば、効率が良くなるのは理解するが、変更する考えはない。

組合)

- ・理解できるのであれば、しっかり検討するべきだ。